




アインゲイン
#4 ブルー・ティア・イン・マイ・ハンズ (前)

DOJIN
R18
成年向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

GOD EATER FANBOOK FOR ADULT ONLY



——近日中に
フェンリル本部より
数名の幹部が
極東支部の視察に
訪れる予定だ

感応種、黒蛛病、螺旋の樹、
そしてブラッドとラケル博士…
彼らに説明しなければ
ならないことが山積みだが…

上手くいけば
本部からの諸々の圧力も
解消できるかもしれない

正直、
ここが正念場だと
思っているよ

それと彼らから
サテライト計画についても
報告を聞きたいと
言ってきていてね

他の事案については
私たちが対応するとして
サテライトについては
アリサ君に
お願いせざるを得ないんだが…

了解しました

私としても
現状をより多くの方に
知っていただくには
いい機会です







アゲイン

4 「ブルー・ティア・イン・マイ・ハンズ(前編)」

アゲイン # 1 ~ # 3 あらすじ

2074年初頭、フェンリル本部より極東支部に対しある支援要請が下された。「欧州管区において発生した大規模なアラガミ群の掃討作戦に参加せよ」この要請を受け、クレイドル隊総隊長（リーダー）は欧州遠征隊を結成し、その指揮官として極東を発つ。彼を見送るアリサの胸元には、前夜、彼から贈られた蒼い宝石のペンダントが煌めいていた。

その数ヶ月後、極東支部で彼の帰りを待つアリサたちの元に欧州での掃討作戦の最中、リーダーが戦死したとの衝撃的な知らせが届く。明確な証拠が示されず、表向きは彼の生存を信じているかのように振る舞うアリサだったが動揺する本心を誤魔化すことはできず、やがて過去の記憶のフラッシュバックに苛まれるようになる。

3年前に極東支部に配属されるより以前、アリサはアーク計画推進派の手駒として洗脳教育を受けた冷徹な戦士であったが、もう一つ、決して明るみには出すことのできない使命を課せられていた。“奉仕”と称する、フェンリルの重役や有力者達への性的な接待。名誉ある有意義な仕事と教え込まれたアリサは男たちの肉欲の捌け口となることに何の疑問も覚えずにいたが一人の少女との出会いと交流を通じて、自分は騙され、利用されているのではないか、という疑念を抱く。これを危惧した推進派は少女を謀略によって殺害、オオグルマ博士にアリサの「再教育」を命じるのだった。

再教育により記憶を消去されていたアリサだったが、アーク計画事変に関与する最中に全ての記憶を取り戻す。自分が身も心も陵辱され、親友さえも巻き込んでしまった事実を突きつけられるアリサ。憔悴していく彼女に対し、感応現象によって彼女の過去を知ったリーダーは、それでも彼女が好きだと告げる。彼と結ばれた夜、アリサは彼の腕の中で、堰を切ったように涙を流すのだった。

1年前

リーダー！
お帰りなさい！

ただいま
アクリサッ

んっっ♡





遠征任務
お疲れ様でした

ああ

ひとまず幹部会で
任務終了報告してくる
アリサはこの後の
予定は空いてるか？

カッ

はい！
空いてますっ

カッ

カッ

良かった



…なら、後で
おれの部屋に来てくれ

いつも通りに、な

…っ

はいっ！

ドキッ



ギン…

あ、あの…



…リーダー？

きやつ!?



リーダー…？

あの、いつも強引ですけど
今日はまた一段と…



リーダー

ほあ

ちゃっ
ちゃっ…

り…ーだあ…



リーダー？

ん…



ん…

ちゃっ
ちゃっ

ちゃっ
ちゃっ



やあ…

ん…

ん…

ん…



今日、変ですよ…
さっきから何も
言ってくれないし…っ

リー…ダー…？

はぁ

はぁ

はぁ

ギタギタ



あ、待って！
まだ、濡れてな

びしょ



向こうで何か
あったんですか…？



びくっ



やさしく、して
リーダー

お願い…っ

おねがい…っ



いたあ…っ

ギク…



……ごじごじ

今日のリーダー
怖い



黙れ……っ

びくっ

あ

ズン

ズン

ズン

ズン

びく

ズン

ズンズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン



本部でな…
お前の「元・ご主人」に
会ってきたよ…



アリサ…

よくやってくれた

君の奮闘が
今回の作戦成功に
大いに貢献したと
聞いている



はるばる
極東からの参陣
ご苦労だったね

身体を休めたら
仲間たちの元へ帰って
安心させてやりなさい

フェンリル本部
評議会のお偉いさんが
わざわざ時間を割いて
直々に労いとはな

おれの利用価値の
値踏みをしに来た
……つてのは流石に
穿ち過ぎか？



：お気遣い
感謝致します

……それだけでも

：では、失礼します

うむ

この軍さん
以前どこかで
見た覚えが……

ああ、そうだ
以前から気になって
いたのだが……



きみのところに居る
アリサ・アミエーラ嬢とは
懇意にしているそうだが

彼女は元気かね？
今ごろ尻尾を振って
待ちかねておるのでは
ないかな

「**ご主人様**
の帰りを

あれは実にいい娘だ
…君もよく
知っているだろう？

大切にしまえよ







——やり直して？
リーダー…

いつもみたいに…
ううん

いつもより、もっと優しく
うんと愛してください

リーダーだから
特別にそれで
許してあげます



…悪いと思うなら





リーダー...あ



ん...っ

...アリスっ

かばっ



挿れるぞ...



んあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



は、激し…っ♡

リーダー…っ

ぽんぽん

ギョギョ
ギョギョ
ギョギョ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ぽん

ぽん

ぽん

がが

ぽんぽん

だ、大丈夫…
です…っ♡
もつと奥まで…
おちんちん突いてえ♡

ぽんぽん

はあ

すまない…っ
優しくするつもりが…
辛抱できねえよ
これ…っ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

いいのかわ？
手加減なしで
突きまくってやるぞ

途中で
根を上げるなよ？

はあ

はあ
はあ

はあ

んあ

りよ、了解…
です…っ

わたしも本気で
受けて止めて
みせます…!!

いい返事だっ

あ

あ

気持ちいいところに
おちんちん当たってるの
感じるか？

か、感じます…♡

リーダーの、大っきな
おちんちんで…っ

はあ

わたしの中…
ぐちゅぐちゅって
掻き回され
ちゃってますっ♡

ギシ
ギシ
ギシ

どゅどゅ
どゅどゅ

どゅどゅ

どゅどゅ

どゅどゅ

どゅどゅ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



トク♡
♡♡♡♡♡

あ♡

ギン♡
♡♡♡♡♡

ギン♡

ギン♡

ギン♡

ギン♡

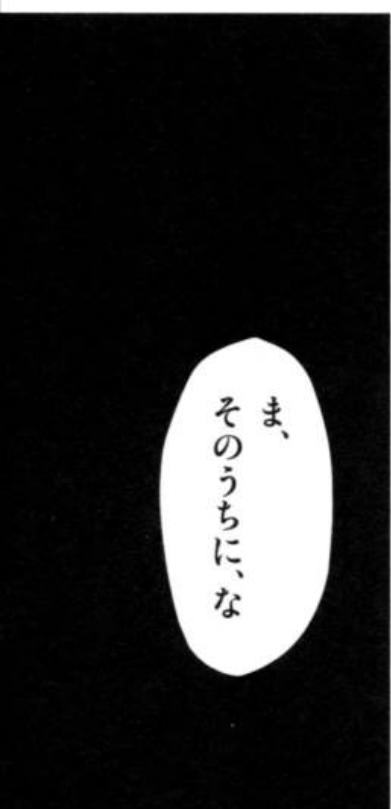
ギン♡

ギン♡

ギン♡

ギン♡

ギン♡



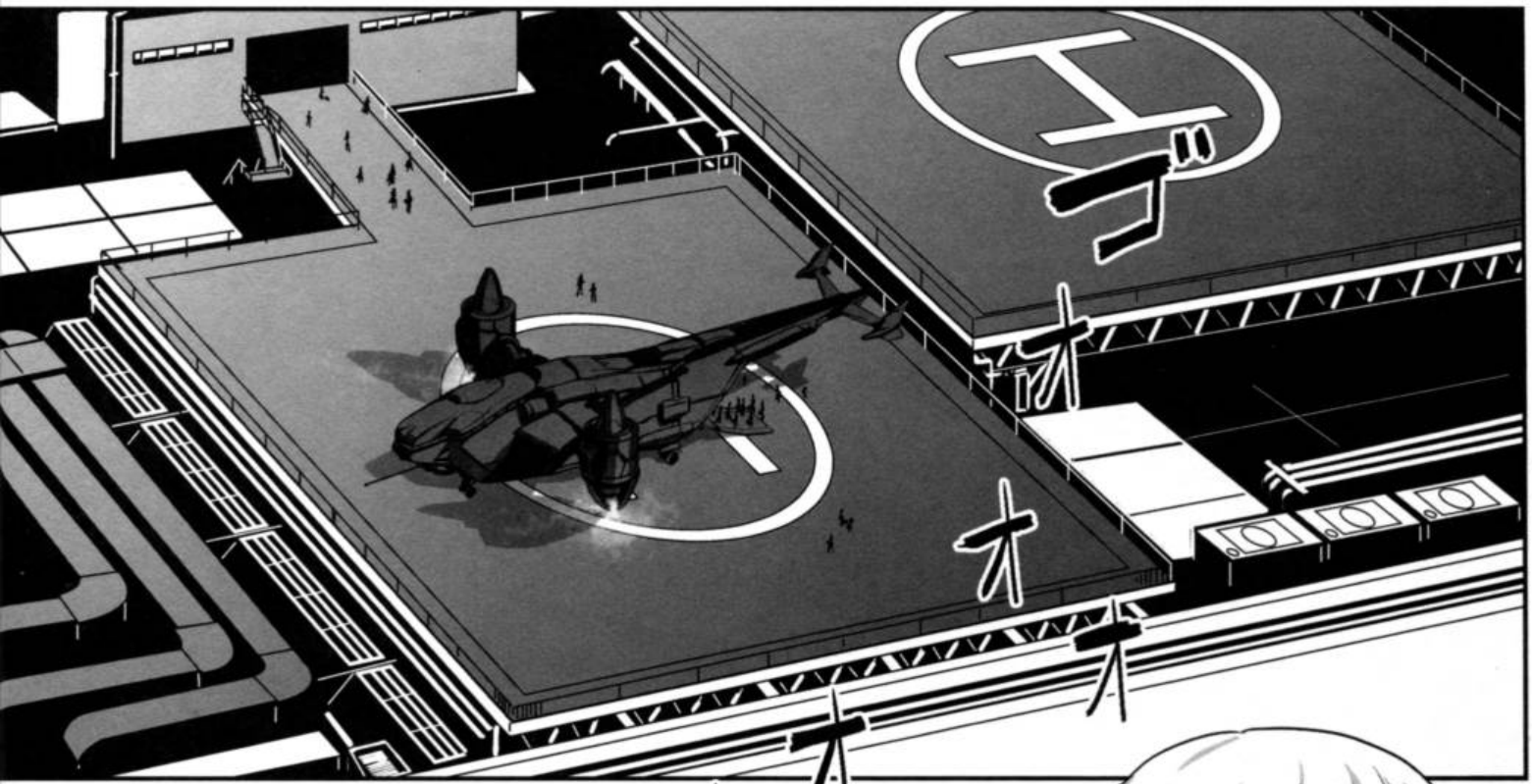


そう言えば

あの言葉の続き、
まだ聞けてなかったな



リーダー…







ご無沙汰しております。あるいは初めましての方もいらっしゃるでしょうか。
ウチガと申します。
本書をお読みいただきありがとうございます。

当シリーズの#1が2014年の冬コミ発行なのでそろそろ3年なのですが
合間にお気楽エピソードを挟んでいたら未だに4話までしか進んでいないという体たらく。

今回の話は長くなりそうなので前後編に分けました。
もしかしたら前中後編になるかもしれませんが。
次回は受かっていたら秋のComic 1、または冬コミになると思います。
自分から始めた長編なので何としても完結させたいと思っております。
遅々とした歩みですが、最後までお付き合いいただければ幸いです。

2017年8月 締め切り直前のウチガ

奥付

「アゲイン# 4 ブルー・ティアー・イン・マイ・ハンズ (前)」

2017年8月13日 初版発行

著者：ウチガ

発行：Lithium

印刷：緑陽社

Pixiv : <http://www.pixiv.net/member.php?id=209542>

WEB : <http://lithiumia.web.fc2.com>



Attention!!

- ・本書は成年向け同人誌です。未成年者の購読／所持及び、未成年者への販売／譲渡を固く禁止します
- ・本書の内容を無断で転載・改竄する行為を禁止します
- ・本書を始めとする、当サークルの頒布物をWEB上に無断でアップロードする行為を固く禁じます。



Lithium
2017 SUMMER

FOR ADULT ONLY